

知は力！ 百聞は一見に如かず

“自然エネ100%の大阪”目ざして

自然エネルギー連続講座

2020年5月～11月



下水処理場での消化ガス発電の見学会



大阪市内で開催された2019年の講座から

原発ゼロの会・大阪の「自然エネルギー連続講座」も今年で4年目を迎えます。
“知は力！”“継続は力！”“百聞は一見に如かず”と言われるように、この間、講座の開催14回、視察・見学会8回に取り組み、そうした学習と視察・見学会から大阪府民のエネルギー政策『自然エネルギー100%のおおさか』への提言をまとめました。
エネルギー政策については、各団体や地域で学習会、大阪府・大阪市など行政との懇談も行なわれ、ペラダ発電や市民共同発電所など様々な具体的な取り組みも始まっています。
今年も新たな内容で「自然エネルギー連続講座」を開催します。自然エネルギー100%の大阪を目ざして、ぜひ多くの方のご参加をお願いします。

● 2020年度連続講座の講師のみなさんと視察・見学先 ●

5月27日(水)

和田 武 さん
(和歌山大学客員教授)



6月24日(水)

青山 政利 さん
(元近畿大学准教授)



9月23日(水)

井上 保子 さん
(宝塚すみれ発電)



11月25日(水)

吉田 明子 さん
(FoE Japan)



第1回 視察・見学会 7月22日

- ・洲本市の取り組みと廃食油製油工場
- ・南あわじ風力発電の騒音・風対策など

第2回 視察・見学会 10月21日

- ・環境モデル都市・堺の取り組みと小水力発電
- ・大阪府立大学の植物工場研究センター

原発をなくし、自然エネルギーを推進する大阪連絡会(原発ゼロの会・大阪)
協賛 日本科学者会議大阪支部 自然エネルギー市民の会 自然エネルギーねやがわ市民の会

自然エネルギー連続講座

第1講

5月27日(水)

午後6時30分～

大阪民医連会議室

世界の自然エネルギー普及の到達点と日本の現状・課題

市民と地域の創造的な取り組みから学ぶ

講師 和田 武 さん (和歌山大学客員教授、
自然エネルギー市民の会代表)

●**学習のポイント** 世界の自然エネルギー普及の到達点と日本の現状・課題について最新のデータを使ってお話しされます。そうした到達点・課題とともに、自然エネルギー・再生可能エネルギー推進の力ギとなる市民・地域の取り組みについて、日本・世界各地での創造的な取り組みの数々について学びます。

第2講

6月24日(水)

午後6時30分～

大阪民医連会議室

環境・エネルギー問題と国連のSDGs

その歴史と背景、私たちの運動との関わり

講師 青山 政利 さん

(元近畿大学准教授)

●**学習のポイント** 国連が提起した持続可能な社会であるための開発目標・SDGsが行政、企業、市民運動などあらゆる分野で話題になっています。環境やエネルギー問題の歴史とSDGs、私たちの運動とSDGsの関わりなどについてじっくり学びます。

第3講

9月23日(水)

午後6時30分～

大阪民医連会議室

“地域循環共生圏”で すすめる行政と市民の 取り組み

～宝塚すみれ発電の活動から～

講師 井上 保子 さん

(非営利型株式会社宝塚すみれ発電代表取締役)

●**学習のポイント** 宝塚すみれ発電は、行政と足並みをそろえて「地域循環共生圏事業」に取り組んでいます。地域で共に生きていくという目的のために、再エネの利活用はもとより、地域の課題に直接取り組む手法で様々な団体と一緒に活動している姿を学びます。

第4講

11月25日(水)

午後6時30分～

大阪民医連会議室

電力自由化と パワーシフト

～今、再エネの電気を選ぶ意味～

講師 吉田 明子 さん (国際環境 NGO

FoE Japan 気候変動・エネルギー担当)

●**学習のポイント** 電力小売全面自由化から4年、企業や市民が再エネを選ぶ動きが少しずつ広がっています。一方、電力9社の巻き返しも激しさを増しています。誤解や情報不足を克服し、石炭火力や原発に頼らない社会にどうやってシフトしていくかを考えます。

現地視察・見学会

第1回

7月22日(水)

午前10時～午後4時

洲本市の推進条例にもとづく 取り組みと南あわじ風力発電 所の騒音・風対策など

●視察・見学先

- ①洲本市の「地域再生エネルギー活用推進条例」を中心とした取り組み
- ②太陽光発電システムと廃食油製油工場
- ③南あわじの風力発電所における騒音対策、風対策など

●主な内容

洲本市は、菜の花・ひまわりエコプロジェクト(2001年)、廃食油を活用したバイオディーゼル燃料(BDF)製造利用(2003年)、公共施設の屋根を利用した太陽光発電施設と住宅用太陽光発電施設導入補助金制度(2004年)など、再生可能エネルギーの推進を旨とし、様々な取り組みを行っています。

そうした取り組みのうえに2013年には「地域再生エネルギー活用推進条例」を制定しています。条例の内容を学ぶとともに、条例を基にした実際の事業展開を視察・見学します。

また、南あわじの風力発電所では、風力発電事業の全般とともに、問題となる騒音対策や強風対策などについて視察・見学します。

- 集合時間と場所 当日は午前8時までに大阪民医連前にお集まりいただき、貸切バスで淡路島・洲本市に向かいます。

第2回

10月21日(水)

午前10時～午後4時半

環境モデル都市・堺市の 取り組みと大阪府立大の 植物工場研究センター

●視察・見学先

- ①環境モデル都市・堺市の「地域エネルギー施策方針」を中心とした取り組み
- ②桃山台配水場の小水力発電
- ③大阪府立大学の植物工場研究センター

●主な内容

堺市は1997年に環境基本条例を制定し、その後99年に環境基本計画、2003年に地域省エネビジョン、06年に循環型社会づくり計画をまとめ、2009年には環境モデル都市に認定されています。地域エネルギー施策としての「まちなかソーラー発電所推進事業」や「地域エネルギー施策方針」(2018.12改定)などの取り組みを学ぶとともに、桃山配水場ではバイパス方式による小水力発電を見学します。

府立大学植物工場研究センターでは、同施設で行っている栽培したコケを用いて屋上緑化を行い、太陽光発電とエアコンの効率を増すハイブリッドシステムなどを見学します。

- 集合時間と場所 当日は午前9時までに大阪民医連前にお集まりいただき、貸切バスで堺市役所に向かいます。大阪府南部の方は直接堺市役所に来ていただいても結構です。

連続講座会場の周辺図



連続講座の会場

大阪民主医療機関連合会

大阪市中央区南本町2-1-8
創建本町ビル2階

最寄りの駅

地下鉄堺筋線・中央線の「堺筋本町駅」で下車し、⑨番または⑭番出口から徒歩3分です。

参加費・申し込み方法など

■連続講座

- 参加費
1回 800円 (学生:無料)
4回連続参加の方は2,800円

■現地視察・見学

- 参加費
1回 500円 (学生:無料)
- 交通費 (貸切バス代)
 - ・7月22日:3,500円
 - ・10月21日:2,500円

●見学科

府立大植物工場研究センター:1,000円

■申し込み・振り込み方法

- 下記申込書に必要事項を記入の上、第1次分として5月15日までにメールかFAX、郵送などでお申し込みください。
- お申し込みいただいた方には、事務局から郵便振込用紙をお送りし、事前に参加費と交通費などを振り込んでいただくようにしています。

申し込み先

原発ゼロの会・大阪 事務局

〒540-0026 大阪府中央区内本町2丁目1番19号 内本町松屋ビル10 370号
大阪から公害をなくす会 気付

電話 06-6949-8120

FAX 06-6949-8121

メールアドレス energy-bukai@genpatsuzero-osaka.com

参加申し込み書

コピーして、FAX・メール・郵送などでお送りください。

お名前				
ご住所 (団体名)				
電話番号			携帯番号	
メールアドレス				
参加講座 (○印を)	第1講 (5月27日)	第2講 (6月24日)	第3講 (9月23日)	第4講 (11月25日)
参加見学 (○印を)	第1回 (7月22日)	第2回 (10月21日)	/	

(講座だけ、見学会だけ、あるいは飛び飛びの参加もOKです)

第1次分として2020年5月15日までに、原発ゼロの会・大阪の事務局までお申し込みください。